

2024.2.15 (木)
第 29 回例会
(通算3744回)

2023-2024 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第85代会長 後藤 公貴
副会長 樋口 貴広
幹事 佐藤 貴之
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2023-2024 年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう
2023-2024 年度
RI 会長 ゴードン R. マッキナリー
第 2500 地区ガバナー
鶴見 誠一郎 (紋別港 RC)

月間テーマ	平和と紛争予防／紛争解決月間
本日のプログラム	会員卓話 (須藤隆昭 会員) (プログラム委員会)
次週例会	「釧路市長講話」 (プログラム委員会)

- ロータリーソング：我らの生業
- ソングリーダー：牧田 和也君
- 会員数 104 名
- ビジター
- ゲスト

会長の時間 後藤 公貴会長



また悲しいお知らせをしなければなりません。私たちの大切な同志でありました川合隆俊君が天国へと旅立たれました。

昭和 18 年 2 月 1 日に釧路市でお生まれになり、小学校、中学校、高校と釧路市において勉学に励み、そして神奈川大学をご卒業された後、昭和 40 年にお父上が経営されている釧路内燃機製作所へご入社。昭和 62 年に同社代表取締役にご就任され、平成 22 年に息子さんに代をお譲りして会長職に就任されました。

長年に亘り業界の発展にご尽力をされ、釧路市船舶関連協議会会長、日本船舶電装協会北海道支部長などを歴任。職業を通じた海事功労として北海道運輸局長賞、国土交通大臣賞を受賞。平成 22 年には黄綬褒章を受章されております。慈善事業にも大変熱心に取り組まれておりました、釧路骨髓バンク推進協会理事長もお務めになったそうです。

1984 年 4 月 26 日に釧路ロータリークラブにご入会。2003-2004 年度には職業奉仕担当の理事、2008-2009 年度には会長を歴任、2019-2020 年度に釧路ロータリークラブ主幹において開催された R I 第 2500 地区・地区大会においては副実行委員長の役割

を務められ、大会の成功に大きく貢献されたことは記憶に新しいところでございます。

また、皆さんもご記憶のとおり、大切な日、そして大切な場面にはソングリーダーの任を永年お努めになられ、活躍をされました。

体調のことですが、昨年 11 月ころまでは元気に例会に出席をされておりましたけれども、昨年末から今年にかけて体調が急激に悪化されて、令和 6 年 2 月 9 日、夕刻にご逝去されております。享年は 82 歳でありました。

この地域の業界の発展、そして地域社会の発展、そしてなにより釧路ロータリークラブの発展に大きな貢献をさせていただいた故人に対しまして、哀悼の誠をささげると同時に心よりご冥福をお祈りさせていただきます。

釧路ロータリークラブが大好きだった方です。私たちは故人が愛したこのクラブの楽しさ、そして釧路ロータリークラブらしさを後世にしっかりとつないで行き、守って行く責務があると感じますし、私自身はそのクラブの雰囲気をしっかり守ることを誓ったところでもあります。

川合さん、どうぞごゆっくりおやすみになっていただきたいと思っております。

本日は、これで私の時間を終了とさせていただきます。

幹事報告 佐藤 貴之幹事

皆さま、こんにちは。3月16日土曜日に開催されますIMのご案内です。既に皆さまにはメールでご案内しておりますが、締め切りが来週の19日、月曜日までとなっております。まだ出席連絡が少ないようですので、ぜひ参加していただければと思います。当日は、後藤会長が登壇しての活動報告をする予定となっておりますので、皆さまのご参加をよろしくお願いいたします。以上です。

■本日のプログラム■ 会員卓話

会員卓話 須藤 隆昭会員

皆さん、こんにちは。今日はお話をさせていただきありがとうございます。



なぜか入ってそんなに経っていないので

すけれど、今日で3回目のお話を佐藤幹事からいただいた時には、「僕でなくて」と話していたのですが、「インドに行かれたり、本を出したり、面白いことをやっているから話してください」と言われ、どうしようかと思ったのですけれど昨日、プログラム会報委員会があり、麟さんと美味しい料理をいただきながら同じ席の後藤会長と「何を話せばいいのでしょうか」と話していたら、「釧路ロータリークラブだから釧路のことを発信する、話して考える場を与えてくれれば」という話があったので、今日のタイトルは「鍼灸の未来と気の力」ですが、釧路に勝手につながる話が最後にできれば、と思っています。緊張しますけれど、よろしくお願いいたします。

左の写真は岩保木から釧路湿原を見た所で、右は宮古島のビーチの日の出の時間です。両方とも光がきれいな感じだと思っている所です。

はじめに少しだけインドの話です。去年の11月、コロナ明けで久しぶりに外国に行けて、3回目のインドでした。前には1カ月くらいずつ行ったことがあるのですが、今回は妻と一緒に10日間くらいだけでした。デリーとバラナシとリシケシの3つの街に行ってきました。デリーはものすごい大気汚染で、街自体が車の排気ガスと工事現場のエネルギーと、多分、日本の高度成長期のようなエネルギーがあふれている感じでした。

こちらはガンジス川です。左側に見えるのは死体を焼いている炎なのです。すぐ下に、その灰をまいて流れて来る横で沐浴をしながら身を清めているのです。すごく嬉しそうにザブーンと入って行って、ここで沐浴

するのはヒンズー教徒にとっては最高の喜びみたいな感じなのです。ホントに清・濁なんでもありみたいな感じですが「お前も入ってみろ」と言われたのですがザブーンとは行けずに、くるぶしまで少しだけ入って来ましたけど。

インドのパワーは、なんでも受け入れながら、神様も宗教もいろんなものを受け入れながらやっている。これが今の経済成長につながっているのかと。人口も中国を抜きましたし、経済も中国を超える勢いがある所なので、アジアは日本の時代とか韓国・台湾の時代があったけども、インドかなというエネルギーを感じて来ました。

今日のテーマは、僕の仕事としている鍼灸業界の現状と未来のことと、「気の力」と釧路のウェルネスツーリズムをお伝えしたいと思います。

「日本鍼灸は絶滅危惧種か」と実は言われているのです。「鍼灸をやっている」と言うと、「これから高齢化社会でいいのではないか」と言われるのですが、かなり厳しい状況です。

こんな本が出ています。『鍼灸師になってはいけない』とか『鍼灸師にならなければよかった』という本。これは鍼灸学校を出て開業したけど、うまく行かなかった人が書いた本です。思ったように行かなかった。なぜうまく行かなかったかということ、平成10年の規制緩和があってそれまで学校数が一定だったのが、一気に6倍の学校ができて、卒業生もどんどん増えているのです。免許保持者も8万人だったのが12万人。これ自体は、仲間が増えていいことですが、卒業した後に研修を受ける場が足りません。あまり技術がないまま開業して、結局、3年持たずに止める所が増えて、せっかく3年間の学校に300万円、400万円のお金を使って国家試験に通って資格を取ったのに、その仕事に継続しているのが30%しかないのが現状です。

受療率も低下しているのです。昔、僕が開業したころは8%くらいあったのですが、今は5%とか4%とか低迷したまま続いています。鍼灸師が増えても受けてくれる人がたくさん来てくれれば何の問題もないのですが。

これはアメリカ・ニューヨークの鍼灸学校に5・6年ほど前に行った時に聞いてきた話です。日本の2009年は9.5%とか7%あった受療率が5%、いま4%に落ちている状態です。アメリカは鍼灸が広まっていなくて、ニューヨーク州、カルフォルニア州、ハワイ州の辺りは独自の免許を出して流行っている方ですが、それでも1%、1.5%だった時代があって、僕が行った時に「どれくらいですか」と言ったら、担当の人が恥ずかしそうに「アメリカに鍼灸が来てまだ20年くらいなので、本当に少なくてたった10%なのです」と言うのです。

僕は恥ずかしくて日本の現状を伝えられなかったです。「日本や中国が鍼のメッカなのです」みたいに言われているのに、アメリカは10%、日本は5%行っていないという時代が来ています。多分、逆輸入されて来るような時代が来るのかもしれませんが。

『ホントに鍼灸院経営大丈夫』、これは鍼灸院関係の新聞のものです。少し前のデータであるけれど平均年収260万円。これでは生活して行くうえで大変です。



なおかつ、100万円を稼げていない所が22%、これではアルバイトか何かをしないとやっていけない状況です、だから掛け持ちで何かをやる。

ある程度稼げている所までは二極化が進んでいて、半分以上は大変な状態となっています。

「鍼灸学校に行きたいけど、どうでしょう」と高校生とか若い友達に言われると、「いいよ、鍼灸はおもしろいよ」と伝えるのだけれど、「ただ、思っているほど甘くないよ」と。資格さえ取れば仕事になるだろうと思っている人がいるのですけれど、それは40年くらい前の話です。今は、資格を持ったところがスタートになります。過当競争の時代があって、学校では経営のことは一切教えてくれません。国家試験に受かるための勉強なので、「あとは自分で考えてやりなさい」ということで、いざ経営する時にはものすごい苦労があります。

そして、経営力がないまま開業すると、うまく行かず止めてしまう。医療保険も鍼灸は保健適用ではあるのですが医師の同意書が必要になってくるのでハードルがあって、同意書をもらうのに厳しい状況があって、国全体では医療費の削減という方向になっていますから鍼灸などの医療費も削られ、介護保険で参入したかったのですが参入することができないまま。自力でなんとかして行かなければならないのです。

AIが進むとこれからどういうことが起きるかという、皆さまが行く大型スーパーとか空港の待合室に巨大なカプセルが並んでいます。あれがもっと進化したバージョンで、好きな香りがかかって、好きな音楽が流れてやっていると、センサーが血流や体温を測って必要なポイントに鍼のような、お灸のような刺激ができます。もちろんマッサージもやってくれます。それが多分、ワンコインでできるような時代がきます。それが、機械ですから24時間365日稼働します。500円でまあまあ質の施術が受けられると思います。

そんな時に、鍼灸院が10倍のお金をもらって成り立つのかが来ています不安もあります。人口が減ることではどの業界も同じですが、元々のパイが減って行

くことで厳しいところがあります。それでも「鍼灸師になりたい」という人がいたら、僕は「いいと思います。頑張りましょう。一緒に頑張りましょう」と応援して行きます。そのためには、受療率を5%まで低迷したのを10%まで上げていきたい。それから、予防医学とか養生医学として、治療ではない部分での扱いを広めて行きたいと思っています。

釧路ロータリークラブの方で鍼灸治療を受けている方は結構いらっしゃるのですが、受けたことのない方によく「鍼灸院の看板がたくさんあるけれど、どう選べばいいの」と聞かれるのです。それは釧路ばかりではなく、いろいろな所でもそうです。僕は「肩が痛ければ肩だけ診てくれる所ももちろんいいのですが、せつかくなら全体を診てくれて全体調整してくれる所のほうがいいですよ。それは、『全身の調整をするの』と行っている人に聞いたり、少し調べたりすればいい」と言っています。すると、肩が痛かったのは肩だけでなく胃に問題があったとか、他のこともあるので、それを全部ケアする所がお勧めの治療院になります。局所だけでなく全体を診ることで、それ自体が大きな病気の予防になるので、気が付かなかったことが割と明らかになったりします。

それから、「気の力」です。学校で教わりますが、僕自身も信じていませんでした。見たこともふれたこともなかったのです。だけど中国に留学した時に、気功師が背中に気を当てると僕も立っていられなく、動いてしまうことがあったりすると、「本当に気ってある」と知りながら、師匠の治療を見ているとホントに気を流すことで改善して行く治療を見ると実感して来たので、それが大事なのだと思います。

最後はウェルネスツーリズムとして鍼灸院の果たせる役割があると思っていて、可能性は大変だけどころさんあって、うまくやると、楽しくてやりがいがある。僕は生まれ変わっても鍼灸師になりたいと思っているくらい大好きなのですけれど、そう思っています。

鍼灸を10%に広めるために一昨年、日本鍼灸普及協会という会を立ち上げました。1回目は札幌で会をやって、去年の9月に釧路のMOOの中にある『946 BANYA』で会合を開いて、鍼灸のベテランを呼んで講師をやってもらって、中堅の鍼灸師の発表があって、なおかつ鶴居のツアーコンダクターでカメラマン・安藤誠さんの講演とスライドショーもやってもらいました。なぜかという、テーマは「気について」をやったのですけれど、アート・写真を撮る時も、安藤さんは「気を入れてシャッターを押す」と言うのです。ピューっと飛んだ瞬間にシャッターを押しても遅いそうで、飛ぶと思った瞬間に押すと決定的な写真が撮れるそうです。そういう話を皆さんに聞いてもらえると、「ああ、なるほど、いろんなところに気があるのだな」と。

あと、気をうまく使って行くことが仕事につながりません。なおかつ、ここで嬉しかったのは、釧路までわざわざ来てくれた50～60人の方みんなが、海産物が目当てですからその後、美味しいものを食べに出かけて行きました。さらに、湿原観光とか近郊に東北海道の大自然を満喫しながら行ってくれました。

そういうものを作って行きたいと考えて作った会は『日本アキパンクチャープロデュースアソシエーション』。略してNAPAと言っていますが、ナパはワイン好きな方にはカルフォルニアにあるナパバレー、ナパワインの名産地ですので10年後にはナパバレーで乾杯したいと思います。そう言ったら荒井さんは「乾杯だけに参加したい」と言ってくれたのです。そういうのも「あり」ですので、そう考えてやっています。今年、第3回の大会を宮古島で行う予定になっています。もう日程も決まっております。きれいな海のある所で勉強して、宮古島の観光をして、島の美味しい食材を食べて、鍼やマッサージやいろいろなセラピーもありますから、そういうもので元気になって来る。学んで元気になって来るものを、どちらかという東京や大阪のアクセスのいい場所ではなくて、東北海道や離島の離れた所で行い、わざわざ来てもらうのが面白いと思っています。

釧路で行った開催した時も、わざわざ九州や関西から来てくれたのです。わざわざ、ここまで来てくれる人は、やはり面白い人が多いので、交流会などもすぐいろいろな所で盛り上がりしていました。

この日本鍼灸普及協会は、鍼灸が生業としてきちんと成り立つために頑張ろうというのです。鍼灸医療は攻撃的な治療ではなくて、悪いものがあるから殺しましょうと言うよりは、ともに共存しましょうと調和の医療でもあるので、そういう思想が広まって行くと地域や世界がもっと平和になるのではないかという思いがあります。日本が元気になって平和になって行くことにつながるような発信をして行きたいと思っています。

「気の力」というのは、節分の時に木下さんの「豆をまくことで、魔を滅する。だから豆にはそういう力があるから、節分には豆をまく」という話を聞いて、なるほどと思いました。そういう力は、いま素粒子の世界で科学的に解明されていることがあって、気の力も素粒子の科学がもっと進むとより科学的に証明されるようになると思っています。

場所にも気があるというのは、何となくわかると思います。気持ちのいい木とか古い寺社仏閣の所に行くだけですがすがしい感じになりませんか。その場所にいるだけで自分がいい気を浴びたり、大きい樹からエネルギーが出ていますが、僕は宮古島と釧路はずごく気の高い場所だと思っています。これは僕だけではなくて、宮古でいうと経営コンサルタントの船井幸雄さん

が「ハワイのカウアイ島と宮古島が一番気が高い。いるだけで元気になる場所」と言ってくれています。釧路湿原の周りもすがすがしい気が流れている、気持ちのいい場所。また、この広がり感がすごいなと思っています。

この東洋医学の基本は、「天人合一」といって、天と地はひとつのものです。人体もひとつの小宇宙という考え方です。自分の宇宙を整えて行くことが地球や世界を整えて行く。あるいは、「正邪合一」というのは、正しい気も邪気といわれる悪いものも実は必要である。インドの話ではないけれども、混とんとした中で全てを受け入れる力があると。なにか嫌な出来事や嫌なことが起きていたり、病気になることもひとつの意味があるのだよと。症状は即、両方につながっている。発熱して、平熱では殺せない風邪ウイルスや雑菌を殺すのは、その熱が出ることに意味があるというところがあります。

「素粒子は、原子を地球の大きさとしたら、豆粒の豆の大きさだ」と木下さんから教わりましたが、すごい高速で動いて、人体を突き抜けたり、ピューッといきなり変な所に飛んで行く。多分、漫画『宇宙戦艦ヤマト』はワープ走法といっって、いきなりワープに入ると時空を飛ぶように、距離を稼ぐように飛んでしまします。素粒子の世界ではそういうことが本当に起きています。

あるいは、波動砲といっって、全くの想像だけれど、原子爆弾であれだけの力があるのだから、波動は素粒子が何らかの爆発を起こすと、それくらいの力とか、もしかしたらビックバンはそのエネルギーで起きたのではないかと、不確かではありますがけれど何となくそんな感じがしています。

あと、宗教の世界と似たところでは、仏教の世界では「草川草木にも仏が宿る」と言われるくらい、いろいろな所にあると言うのです。「八百万神（やおよろずのかみ）」がいると言われている日本には、八百万の神ですから水の神・火の神・いろいろな神、僕の好きなお酒の神様というものもありますから、それぞれが仲よく、それぞれが自分の得意分野を頑張りながらやって行くのが和の世界のいいところだと思います。これも、気の世界になるとしています。

例えば、詩人が念ずれば花が開くのも、寺社仏閣で何かのお願いをするのもあります。だけど、念ずれば全ての花が開くかといったらそうではないです。念ずる時のポイントは全てを信じ切ることらしいです。絶対的肯定の想念を持つと、その力がホントに起き上がる。多分、皆さんも経営をしている時に、「ワッ、ピンチだ」



と思った時に「でも、これをやれば絶対大丈夫だ」とか、「きっと、なんとかなる」思った時には、なんとなく来てたのではないのでしょうか。それよりも、不安感とか恐れが強かったりすると、そうなることもあるのではないのでしょうか。僕自身も経営とか仕事をしながらそういう経験がありました。

最後のテーマです。釧路を含めた『ウェルネスツーリズム』。これって何でしょう。ヘルスツーリズムが先にできた言葉で、ヘルスは健康です。ですから、「孝仁会記念病院の脳ドックを受けるためにわざわざ東京から来ました。そのついでに釧路の観光をして行きましょう」とか、むかし違う会に入っていた時に、「釧路でインプラントの歯の治療を受けよう。それは東京で受けるより安くて、いい技術があるよ。そのついでに観光をしよう」というのがヘルスツーリズムと呼ばれていました。

最近のウェルネスツーリズム。ウェルネスは健康の康を「幸」と書くように、体全体を診て行きましょうという考え方で、治療より養生に近いです。すごく広くなります。いろいろな治療法があれば、レストランで美味しいものを食べる、温泉やサウナに入っただけのんびり・ゆったりする。四国だったらお遍路さんをする、釧路近辺でも寺社仏閣にいい所がある。パワースポットと呼ばれる滝があり、樹がある。座禅会があれば座禅を試みる。アドベンチャーツーリズムは、ただカヌーに乗るだけ。ではなく、そこの地域の歴史や文化と一緒に学びましょうとなるのがウェルネスツーリズムです。こう考えると、皆さんのお仕事も、どこかで引っかかってくるのではないのでしょうか。

気の高い宮古島と釧路は、このウェルネスツーリズムの聖地となるような美しさと光があるような気がします。ウェルネスツーリズムの交流人口が拡大して行くと、釧路の今の人口16万8000人が19万8000人になる可能性があります。宮古島の人口は5万人ですが、常に旅行者と長期移住者が1万人以上いるのです。実質規模は6万人です。これだけ旅行者が増えれば1.2倍の人口規模になります。釧路も16万8000人を1.2倍すると20万人規模の経済圏になれます。ウェルネスツーリズムだけではありませんが、いろいろな所で「夏だけ釧路の人」がかなり増えて来ています。最近では「冬だけ釧路」で、タンチョウなどを見るためにその時期だけにアジアから毎年来る人も増えていきますから。そういうアイデアを出して行くと、また変わると思います。

旅をする鍼灸師の宣伝になります。去年『開業論』という本を出して、「鍼灸で独立する人を応援したい」と釧路と宮古島の魅力を伝えながら、いまこういう活動をしています。

最後に、釧路ロータリークラブの皆さまには本当にいつもお世話になっています。不良会員で宮古やあっち

こっち行ったりして参加できないことが多くて、役割が当たってもうまくできないことでご迷惑をかけていますけれど、最後に言いたいことは、皆さんには発信力や影響力の強い方が集まっているので、みんなが釧路の魅力をもっともっと発信したり、発信する働きかけをすると、釧路っていい街だとなります。

昨日終わった委員会で、札幌から来た委員長の沢田さんが「釧路はホントにいい街だ。雪が少ないし、晴れている日が多いから」と言って、他から来た人が釧路を褒めてくれます。本当に嬉しいことです。ただ、その思いが全国にまだ伝わり切っていないから「釧路に何かいい所あるの」の感じがあるので、それを発信することが一つと、鍼灸の魅力を発信し続けるのが僕の後半の人生の役割と思っていますのでよろしくお願いいたします。

今日はありがとうございました、

会長謝辞 後藤 公貴会長



本日のために2週間ほど前からのご準備をされたと昨日お伺いをしました。お忙しい中、われわれに貴重なご講話を賜りありがとうございました。

ありがとうございました。

ご自身の仕事を通じて、鍼灸の世界の発展は元より、地域の発展に尽力をされている姿は見えていて、先生の言葉を借りるとさすがしく感じております。なによりも、考え込むのではなく、それを楽しく発信されていることに深い感銘を受けたところです。

私は内向的な性格で、出不精で、人見知りで、という自分が嫌いなところもあるのですが、先生のバイタリティを見習いながら、もっともっと元気に生きていきたいという力を本日はいただいた気がいたします。

先生の話で、私のことが少し出てきましたが、皆さまに年度初めにお伝えしたこと、地域でご活躍されている・地域を思っている・地域を愛している人たちの話をどんどん聞きたいと思っています。ましてや100人規模のクラブの中で、これだけ多彩な方たち、経験と見識が深い方たちがそろっているクラブですから、多くの皆さまのお仕事を通じて、趣味を通じて、他の土地で学んだことのご経験を私たちに教えていただく例会の機会を数多く持って行きたいと考えております。ぜひ、「オレの話を聞いてくれ」という方がいらっしやいましたら、私までお申し出をいただければと思います。

最後になりますけれども、須藤君の社業ますますのご発展、地域の発展に対してますますご活躍されます

ことご祈念申し上げまして私からのお礼とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■小野寺 俊君 先日、釧路市優良施工業者表彰の建築 A 部門で受賞しました。

■須藤 隆昭君 本日お話をさせて頂きありがとうございます

今年度累計 400,000 円